

# 風力発電 懸念相次ぐ

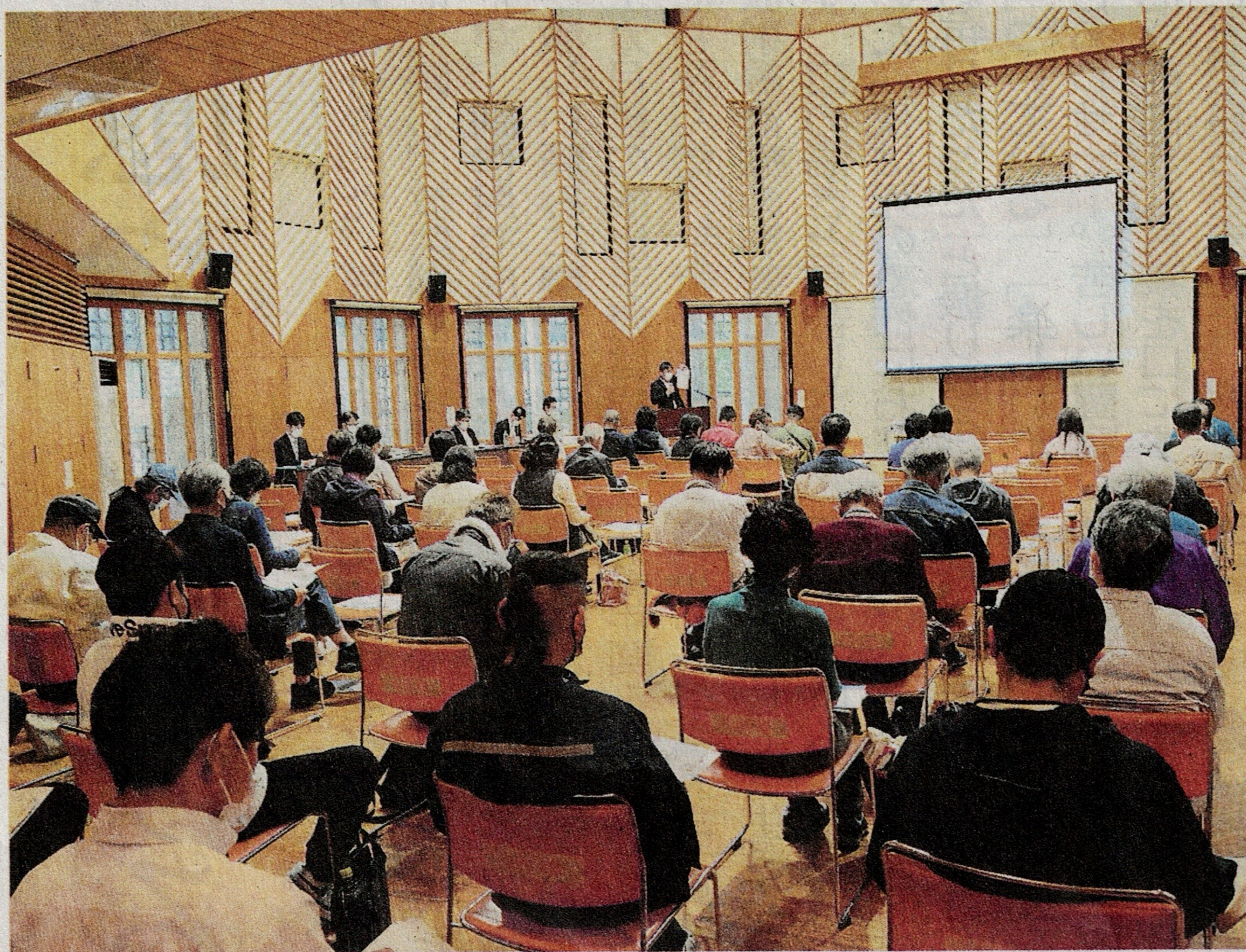
## 水俣市で説明会 「景観壊す」「健康不安」

### 電源開発計画

電源開発（Jパワー、東京）が水俣市などの山間部で計画する風力発電の住民向け説明会が18日夜、同市のもやい館であり、市民からは騒音や超低周波による健康被害を懸念する声や景観への影響から計画に反対する意見が相次いだ。

同社によると、計画では水俣市と鹿児島県出水、伊佐両市の山間部の尾根に沿って、最大で高さ150メートル、羽根の直径130メートルの風車を30基（うち水俣市は18基）建設する。総出力は最大12万9千キロワット。2025年4月の着工、29年1月の運転開始を見込む。全量を九州電力に売電する。

現在環境影響評価（アセスメント）法に基づき、風車建設に伴う騒音や振動、生態系への影響などの調査結果を「準備書」としてまとめた段階。5月10日から縦覧を始め、6月26日まで意見を募集している。説明会には約110人が参加し、同社の担当者が準備書の概要を報告。住民からは「景観を壊すような事業には反対」「健康への影響が不安」といった声が上がった。予定の2時間を過ぎて質問は尽きず、参加者は「意見交換会を別に設



けてほしい」と要望。同社は「住民の理解がないと事

業は進められない。関係当局と相談し、意見を聞く場を設けたい」と応じた。説明会に先立ち、市民グループは計画の白紙撤回を求める意見書を7629筆の署名を添えて同社に提出した。（久保田尚之）

電源開発が開いた風力発電建設計画に関する住民説明会  
＝水俣市